

【 第7回 男子ユースアジア選手権 】

2016年8月27日～9月5日 バーレーン・マナーマ

試合結果報告 8 月 29 日 (月)

J P N	V S	H K G(香港)
13	前半	4
14	後半	11
0	第1延長	0
0	第2延長	0
27	合計	15

個人得点

名前	前半	後半	第1延長	第2延長	合計
高光 凌	0	0			0
高野 颯太	1	0			1
浅川 律樹	0	2			2
阿部 奎太	0	1			1
部井久 アダム勇樹	4	0			4
服部 将成	0	1			1
徳田 廉之助	2	0			2
藤川 翔大	0	4			4
村木 幸輝	0	0			0
藤田 龍雅	3	0			3
堀田 陽大	0	0			0
矢野 世人	1	0			1
助安 大成	0	1			1
若狭 圭悟	2	3			5
狩野 優太	0	2			2
					0
					0
					0
合計	13	14	0	0	27

戦評

男子ユースアジア選手権の3戦目は香港と対戦。これまで同様ハードなコンタクトDFを徹底すること、昨日の反省として、試合の立ち上がりから100%のプレーで戦うことを確認して試合に臨んだ。開始から日本のDFが機能し、GK堀田の好セーブからの速攻などで3連取、試合の主導権を握る。その後、相手のポストプレーヤーに得点を許すものの、そこからLB部井久らでさらに6連取。開始12分で9-1と大きくリードする。その後、ミスにより得点が思うように伸びない展開となったが、これまであまり出場機会のなかったRB若狭のロングシュートやカットインで加点し、13-4で前半終了。後半、徐々に日本のDFに対応しだした香港に対し、日本は助安の闘志あふれるDFに加え狩野の体を張ったディフェンス、果敢なサイドシュートで対抗する。互角の攻防が続いた後半12分、日本はPV助安・RB若狭・RW浅川・CB藤川らで5連取し、日本のペースで試合が進む。その後も、PV服部の速攻での豪快なシュートなどで着実に加点し、最終的には27-15で勝利した。また、本日の勝利によりグループ2位以上が確定した。次戦はグループ1位通過をかけて地元バーレーンと対戦する。

報告記入者 :

古家 雅之